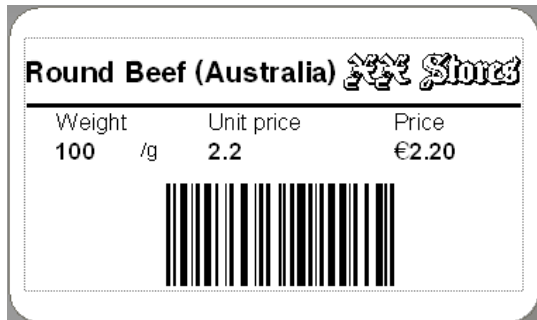


秤に直結させ、重さ、金額及びそれらのバーコードを印刷する場合

Scale.lbx

媒体：R D 50 mm×30 mm



テキストオブジェクト 4 個

バーコードオブジェクト 1 個

イメージオブジェクト 1 個

以下のオブジェクトは、テキストオブジェクトを編集禁止に設定して、イメージオブジェクトにする。（テキストのプロパティの拡張タブの文書の編集を禁止するにチェックをいれる。）

- XX Stores
- Weight
- Unit Price
- Price
- /g
- E

注意：データ流し込み対象オブジェクトが5個あるので、秤の出力データの順番になるように、オブジェクト名を変更すること。（テキストのプロパティの拡張タブのオブジェクト名を変更する。オブジェクトの順番に関しては、P-touch Template 2.0 コマンドリファレンスの制限事項参照のこと）

P-touch Transfer Manager により、テンプレートは 1 番へ指定して転送する。

【秤の出力データが、“Round Beef (Japan),200,4.4,4.40,123456789123CR” の場合】

Scaletxt

Round Beef(Japan),200,4.4,4.40,123456789123CR

P-touch Template 設定ツールで以下のような設定を行う。

- ①コマンドモードを、P-touch Template モードにする。
- ②テンプレートの選択番号を 1 番にする。
- ③区切り記号の設定を“,”に変更する。
- ④印刷開始トリガの選択項目を、設定されている文字列受信時にする。
- ⑤印刷開始コマンド文字列を“CR(0Dh)”にする。

転送したテンプレートの設定をするには P-touch Templateモードを選択し必要に応じてデータを入力して下さい。
テキストボックスに制御コードを入力するには、ASCIIコード[00-FF]の前に¥マークをつけてください。
例) TAB: ¥09, CR: ¥0D, ¥: ¥¥ 各1バイト

コマンドモード(C): P-touch Template

テンプレート番号初期値(I): 1

区切り記号(L): ,

印刷開始トリガ

☒ 印刷開始コマンド文字列(Q): ¥0D

☐ すべてのオブジェクトのデータ取得後(I)

☐ 指定データサイズ受け取り後(V): 10 バイト

印刷結果

